

ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立八戸盲	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input checked="" type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	マーブリングに挑戦		
	単元(題材)の目標	マーブリングによって偶然できた形や模様を楽しむ。 手順を確認しながら制作に取り組むことができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	1 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元（題材）における主な実態を端的に記入する。 ・作品の見本を見たり、教師の説明を聞いたりすることで活動に興味・関心をもち、取り組むことができるが、興味を持続して時間いっぱい活動することは難しい。 ・色彩や形の違いが分かり、好きな色や形を選ぶことができる。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 iPad		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 Drop Talk		アプリマーク 
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	アプリを使って手順を示すことで、主体的に手順を確認したり、やってみたいという意欲を持続して学習に取り組んだりすることができるようにする。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 作品制作のこまかな手順を、Drop Talk のスケジュールキャンパスに作成し、活用した。それぞれの手順の説明に合わせて、写真や動画も見られるようにした。タブレット端末の操作を生徒自身が行うことができるよう支援した。やり方を覚えると、自分のタイミングで終了した項目にチェックを入れ、次の手順を知り、意欲的に制作に取り組むことができた。			